

Rotary



宮崎南週報



ジョン・F・ジャーム
2016-17年度RI会長

出逢う人と奉仕を共に

宮崎南ロータリークラブ

会長 野田一孝

第1922回例会

2017.6.12

会長／野田一孝 幹事／井上竜志
副会長／日高章智 会報／戸高勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／奉仕の理想
ロータリーの目的



宮崎県中央分区
ガバナー補佐
藤堂孝一様



オブザーバー
(ワイス設計)
田中靖彦様

会長挨拶



本日は、藤堂孝一ガバナー補佐もお見えになっております。藤堂ガバナー補佐には、色々とご指導いただき有難うございました。大きなトラブルもなく、終盤を迎えることが出来ました。ご指導有難うございました。本日は、時間の許す限り、ごゆっくりとお過ごし頂きたいと思います。

6月10日(土)に、宮崎東ロータリークラブの創立20周年記念式典に、来賓として御出席の大迫パストガバナー、日高章智会員、日高勇二会員、井上竜志会員で、出席いたしました。大変盛大に式典が行われ、記念事業報告、記念講演会、祝賀会と、盛会の内に終了いたしました。宮崎東ロータリークラブの益々の、ご発展を御祈念致したいと思います。

そして、6月16日に宮崎県中部分区現・次期会長幹事会が行われます。いよいよ本年度も終了しようとしております。残りの期間を、気の緩みの無い様に行いたいと思っておりますので、会員の皆様の御協力を御願い致します。

出席委員会報告

松田安典委員長

●出席状況

本日状況

会員数 (41) 44名
本日欠席者数 16名
本日出席者数 28名
出席率 68.29%

前々回状況

会員数 (43) 45名
ホームクラブ出席者数 34名
メークアップ数 0名
修正出席者数 34名
修正出席率 80.90%

ニコニコ BOX 3件 累計191,500円

募金箱 4,383円
累計176,613円

幹事報告

井上竜志幹事



・第52回インターフェスティバル年次大会のご案内が来ております。日時は8月5日(土)、6日(日) 13:30受付、場所は、高原町総合保健福祉センターほほえみ館です。

登録料は¥5,000です。ぜひ、次年度インターフェスティバル委員長の開地さんは出席をお願いします。

・第5期 RLIパート1が開催されます。

7月29日(土) 9:50~ 日大高校 登録料4,000円

6月30日(金)締切となっております。

クラブ訪問挨拶

宮崎県中部分区
藤堂孝一ガバナー補佐



皆さんこんにちは、宮崎南ロータリークラブには3度目の訪問ですが、ガバナー補佐の役目として4回クラブを訪問することとなっておりますが実行できなくて申し訳ありません。

3月に父がなくなり告別式には過分なるお悔やみを賜りありがとうございました。ロータリーの有難さを痛感するのと、素晴らしい告別式ができ感謝いたします。今年度の大重ガバナーの職業奉仕に対しての説明を受け、今年一年間本当に勉強になり充実した一年



ロータリー情報

●超我の奉仕賞 (RI Service Above Self Award)

ロータリーを通じて積極的なボランティア活動を行い、他の人びとを助け、模範的な奉仕を実践した人に送られるロータリー最高の賞である。毎年、最高150名の受賞者が選ばれる。

間でした。

野田会長、井上幹事一年間お疲れ様です。にこやかな顔を見ると年度始まりの時の緊張からすると充実した一年間だったと思います。後2回の例会を残すのみとなり楽しんで下さい。

規定審議会の大幅な改定により、クラブの定款細則の見直しなども終了して次年度に向けての準備も済んだことだと思います。

大半のクラブが現状のままのようですが2クラブ程度が例会を月2回で実施するようす、中部分区の会員も当初の目標500を今現在クリアしておりますが、6月に退会する人が多いのが現実ですので何とか維持していただけたらとお願いします。現在のところ南クラブが4名の純増で分区として最多の増強です。現在の会員数を維持し、宮崎南クラブの益々の発展御活躍をご祈念申し上げあいさつとさせていただきます。

本当に一年間ありがとうございました。

親睦委員会報告

大迫雅浩副委員長



- ・6月11日(日)宮崎南ロータリークラブコンペは大雨の為中止となりました。

ニコニコBOX



藤堂孝一ガバナー補佐
一年間お世話になりました。

その他

インターフェス委員会

安川潔副委員長



6月10日(土)、11日(日)地区インターフェス連絡協議会が開催され鵬翔高校の鶴田先生と一緒に参加しました。

ワークショップ各インターフェスの活動報告等々の内容でした。現在IAC数は鹿児島17、宮崎13の合計30です。鶴田先生から鵬翔高校のIA生は146名との報告を頂きました。7月からの活動は7月23日に3661地区IA受入、8月5~6日に第52回インターフェス年次大会、11月に3661地区IA訪問となっております。

本日のプログラム

年度末委員会報告

会員増強・分類選考委員会 早瀬清則委員長



今年度は、小園副委員長、大迫パストガバナー、開地委員、松本委員、山崎委員の6名で活動しました。2730地区の目標は「各クラブ3名純増」でしたが、当クラブは5名純増を目指しました。8月22日に第1回(6名)、12月5日に第2回(12名)の委員会で情報の交換や親睦を深めました。又、入会案内パンフも次年度以降も利用出来る様にした物が作成されました。

最終的に、新入会員が(8名)、退会員が(4名)、純増会員は(4名)と成り、地区の目標は達成することができました。

尚、6月28日に新会員を歓迎する懇親会を、推薦者と増強委員会のメンバー(合計17名)で開催し、本年度の活動を終了する予定です。

この会が、同期ロータリアンとして、今後の活動のきっかけに成ることを祈念いたします。

ロータリー情報委員会

大迫三郎委員長



副委員長 高山周栄
委 員 甲斐宗雄

クラブ協議会は副委員長の高山さんの協力を得て全て会議に参加しました。

2730地区研修リーダーとして地区予算から「日常的ロータリーの用語集」「職業奉仕とロータリーの魅力」のパンフレットを地区内2300人プラス新会員の為に発刊しました。この用語集は2730地区では初めての配布でした。用語集は単に言葉の意味だけではなくロータリーの歴史、組織、価値観、倫理、哲学に及ぶ理解が得られます。是非手許におかれ参考にされますようお願い致します。

例えば「四つのテスト」はハーバード・テラー(1954 RI会長)が1932年に倒産寸前の会社再建の為に用いて再建を成し遂げた由来。経営学の大学学長として活躍し「最も良く奉仕するものは、最も多く報いられる」の標語を提唱したシェルドンの話など、面白く理解する事ができます。1905年に経済・倫理の荒廃したシカゴで青年弁護士ポールハリスが4人の仲間と共に発したロータリーは幾多の変化、

例えば職業奉仕を主体とする個人奉仕か、団体で行う社会奉仕かなど議論され、1923年の審議による34条で、いわゆる個人奉仕と社会奉仕の両立が決議され、ロータリー財団などの社会奉仕とロータリーの基盤、職業奉仕が認承され今日に至りました。

広報・雑誌・IT委員会

川村雅宣委員長



今年1年間させていただきました。

去年都城の全体会議に出席しましたが、それに工夫して活動されている感じました。

色々と案がありましたら教えていただき、前向きに対処したいと思います。また来年も同じ委員会に配属になりました。今年よりもっと前進できればと思います。

インターアクト委員会

山崎栄一郎副委員長



- 誕生昨年の6月に都城で地区連絡協議会が行われ、事業報告、引き継ぎ等が行われました。
- 8月の年次大会は学校の都合で欠席しました。
- 12月の年末の家族懇親会に鵬翔高校の鶴田先生及び、インターアクト生3名の参加を頂き南ロータリーの皆様と懇親がはかれたと思います。
- 次年度は開地会員が委員長ということで次年度も鵬翔高校のインターアクトと多方面に活動して頂きたいと思います。

ロータリー財団委員会

川野一義委員長



事業計画については、年次寄付1人当たり年間100ドル以上、ポリオプラス1人当たり3,000円以上は達成しましたが、ポールハリスフェローについては未達成でした。

米山奨学会委員会

田中寛委員長



1、今年度の事業計画としては、米山記念奨学会（以下、米山奨学会といいます）の啓蒙として、平成28年10月の米山月間に合わせ、私が、同年10月3日に、米山奨学会に関する卓話をさせていただきました。

また、米山奨学会への寄付の協力要請等もさせていただき、皆様に協力していただきました。有難うございました。

米山奨学会は、日本で学ぶ外国留学生に奨学金を支給し、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することにより、世界平和と国際親善の推進を目指しています。

当クラブは、平成29年4月から、当クラブが「世話クラブ」となり、湯地浩隆会員が「カウンセラーチュウ」、「ミヤティンチュウ」さんを米山奨学生として受け入れており、例会にも来ていただいているので、当クラブとの間で将来の世界平和と国際親善につながっていくような親しいお付き合いが出来ればと思っております。

2、米山奨学会については、寄付額の増額の課題があり、当クラブの寄付額は、そう高額はありませんが、特に低くはない額だと思います。しかし、高額寄付をしているロータリークラブもありますので、寄付額を少しでも増額していく課題については、次年度への引き継ぎ事項にしたいと思います。この一年間有難うございました。

プログラム委員会

入佐秀幸委員長



プログラム委員会の入佐です。今年度は中原会員とプログラム委員会を務めさせていただきました。会員の皆様にはこの一年間卓話を引き受けさせていただき大変感謝しております。クラブフォーラムの実施回数や反省すべき点は多々ありますがプログラム運営ができたのも皆様の協力のお陰です。一年間ありがとうございました。